

開講科目名	日本語入門ⅡB			
成績入力担当	野村 真紀	開講区分		単位数
		第2クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG010	曜日・時限等	火3(対面)	時間割コード

授業のテーマ

入門レベルの日本語（4技能）を総合的に身につける

授業の到達目標

- ①ひらがな・カタカナ五十音の読み書きができるようになる（漢字学習は含まない）。
- ②日本語の初歩的な構造を理解できるようになる。
- ③入門レベルの文型・語彙、日常会話の基本表現を用い、日常のことや自分自身のことについて簡単なコミュニケーションができるようになる。

授業の概要と計画

本講義は対面で実施するが、状況によってはオンラインリアルタイム型授業で実施する可能性がある。
また、シラバスは変更される可能性がある。最新情報は授業に出て確認すること。

日本語入門Ⅰ～Ⅲでは同じ教科書を使用し、週3回の授業で1課分の学習をする。一部のクラスのみ履修することも可能だが、学習効果を促進するため、できるだけ全クラスを履修することを推奨する。

各クラスの主な活動は下記の通り。このクラス（日本語入門Ⅱ）では、C)を中心に行う。

A) 文型の学習、B) 会話表現の学習と練習、C) 聴解と総合的な活動

授業のスケジュールは以下の通り。

第1回（6月16日）：第7課

第2回（6月23日）：第8課

第3回（6月30日）：第9課

第4回（7月7日）：第10課

第5回（7月14日）：第11課

第6回（7月21日）：第12課

第7回（7月28日）：第13課

第8回（8月4日）：復習・試験

・各回の宿題は、期日までに提出すること

全8回（15時間）

（日本語入門ⅠB-ⅢB：週3コマ全8週（総合時間45時間））

日本語入門は週に3日の授業があり、同じ教科書を使用するが、火（語彙・文字・聴解中心）、木（文型中心）、月（会話表現）とそれぞれ内容が異なるため、独立して履修することが可能である。ただし、学習効果を促進するため、できるだけ同時に履修することを推奨する。

成績評価方法

授業活動、授業参加度、最終試験で評価する。

1. 授業活動及び授業参加度 30%
2. 課題 20%（宿題、Q&A/ディクテーション）
3. 最終試験 50%

※課題の詳細については、授業で説明する。

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF（不可）とする。

成績評価基準

1. 授業活動及び授業参加度:授業内で提示する練習、タスクに取り組み、それらを通して、他の受講者とコミュニケーション活動を行おうとしているか。
2. 課題: 毎回課される宿題にきちんと取り組み、期日までに提出しているか。
3. 最終試験: 教科書に準じた筆記試験を行なう。学習した文型、語彙・表現、会話表現などを理解し、活用できるか。

履修上の注意（関連科目情報）

対象者:

日本語を初めて学習する、または、GEC-JTestの「初級レベル」のテストで得点が35点未満だった学習者を対象とする。
交換留学生（特別聴講学生）履修可

注意事項:

聴講生であっても、課題の提出や授業活動はきちんと行い、理由のない欠席はしないこと。

授業の資料を他の人に提供したり、SNSに公開したりしないこと。

録画、録音、撮影はしないこと。

関連科目情報:

1. 連続授業のため、「日本語入門Ⅰ－ⅢB」を併せて受講することが望ましい。「日本語入門Ⅰ－ⅢB」のうち、受講できない授業がある場合は、スケジュールをもとに、不足分を次週により補っておくこと。
2. 「日本語入門Ⅰ－ⅢA」を事前に受講することが望ましい。

事前・事後学修

【事前学修】

- ・教科書及び文法解説書を各自で用意すること。
- ・授業進度にあわせて、教科書及び文法解説書に目を通しておくこと。

【事後学修】

- ・毎回宿題をして提出すること。クラスを休んだ場合でも、授業スケジュールに従って、所定の宿題をして提出すること。宿題については授業内で説明する。
- ・語学習得の効果向上のため復習を推奨する。復習のための素材は、授業内で紹介する。

オフィスアワー・連絡先

質問はなるべくクラス内ですること。その他、このクラスについて相談が必要な場合は、主任の川上に連絡すること。

オフィスアワー: 月曜日 10:30~12:00 (グローバル教育センター3階 川上研究室またはオンライン (Zoom))。これ以外の時間は事前に予約をとること。

メールアドレス: kawakami [AT]sapphire.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの [AT] の部分をアットマーク @ (半角) に置き換えた上で宛先に入力。

野村 真紀

メールアドレス: makin[AT]pearl.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの [AT] の部分をアットマーク @ (半角) に置き換えた上で宛先に入力。

学生へのメッセージ

本講義の履修者の国籍、言語、日本滞在歴、日本語学習の目的はさまざまです。多様な人々と一緒に、日本語の基礎を学習しましょう。

今年度の工夫

学習の進度を学生に合わせたものとし、学習項目の理解・定着と応用能力の向上を図る。

教科書

- 1) 『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』（スリーエーネットワーク、ISBN：978-4-88319-603-6）
- 2) 『みんなの日本語初級Ⅰ第2版翻訳・文法解説』（スリーエーネットワーク）

同書に関しては、英語版を始め12カ国語版があります。それぞれにあった言語での表記を選んでください。

みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊 / : スリーエーネットワーク , , ISBN:9784883196036

みんなの日本語初級Ⅰ第2版翻訳・文法解説 / : スリーエーネットワーク , , ISBN:9784883196043 Eng

参考書・参考資料等

『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』には、以下の関連テキストが出版されています。

- ・ 『みんなの日本語初級Ⅰ第2版標準問題集』
- ・ 『みんなの日本語初級Ⅰ第2版書いて覚える文型練習帳』
- ・ 『みんなの日本語初級Ⅰ第2版初級で読めるトピック25』
- ・ 『みんなの日本語初級Ⅰ第2版漢字（英語版及びベトナム語版）』
- ・ 『みんなの日本語初級Ⅰ第2版漢字練習帳』
- ・ 『みんなの日本語初級Ⅰ第2版聴解タスク25』

授業における使用言語

日本語及び英語の併用

キーワード

日本語 入門 交換留学生（特別聴講学生）可